

2021年度事業計画書 (2021年 4月 1日～2022年 3月 31日)

事業実施方針

今年度は、これまでの各事業を一層充実させるため、SDGsに基づいた行政・教育機関・企業・福祉団体との協働事業を発展させ、その質の向上をめざす。特にNPOとしての運営・活動を持続可能なものにするために、ファシリテーターの資質を高め、さらなる収益を確保するとともに、近隣団体との連携を通して広くエンパワメントの関わりができる人材を育成をする。子どもの声を聴き社会問題となっている、いじめ・虐待・性暴力を防止することを徹底し、すべての子どもの人権尊重をめざす。

(1)CAP(子どもへの暴力防止)事業

子どもたちや教職員、保護者、地域のおとなに、ワークショップ(参加体験型学習)を通じてCAPプログラムを実施する。
ファシリテーターのスキルアップのため、研修を開催する。

2021年度の指針

堺市を中心に就学前・小学生・中学生・障がいのある子ども対象のCAP(子どもへの暴力防止)プログラムを実施する。また地域社会において子どもの人権に対する意識向上をめざす。乳幼児期の子どもの保護者からすべてのおとなに対してCAPプログラム、さらにSNP(スペシャルニーズ障がいのある子どもたちへの暴力防止プログラム)の理解を促す。CAPスペシャリストは児童・生徒への関りを振り返り、質の向上に努める。

実施場所 堺市内及び近隣地域にある公共施設、幼・保・小・中学校・支援学校など

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日随時(年間約300回)

事業対象者 子ども・教職員・保護者・企業・一般おとな

収入	33,000円×約300回=9,900,000円(253回分は堺市教育委員会から)
支出	15,500円×約300回=4,650,000円(交通費および日当など)

休眠預金等活用法に基づく新型コロナウイルス対応緊急支援助成
～社会的脆弱性の高い子どもの支援強化事業～
『With Kodomoで子どもの心とからだを守る』
CAPセンターJAPANと協働実施事業

実施場所 四天王寺太子学園

実施日時 2021年 4月 1日～2022年 10月末(全6回)

事業対象者 施設職員、障がいのある子ども、地域のおとな

収入	165,000円
支出	165,000円

(2)人権問題に関する啓発・学習会事業

人権問題に関する講演会・研修事業

おとなや子どもの人権問題に関する講演会及び研修の企画・実施

多様性教育・コミュニケーションスキル・PLTプログラム・人材養成講座・子育てひろば運営など

〔HRプロジェクトワークショップの実施〕

2021年度の指針

- ・子どもたちが自分自身の力をよりよく発揮するための「エンパワメント授業」を実施し、感情力やコミュニケーション力を育むための授業を促進する。
- ・HRの4つの柱(エンパワメント・セルフエスティーム・コミュニケーション・エモーション)を軸に、プログラム開発をし、子どもの課題にそったプログラムを提供し実施する
- ・新規の「エンパワメント授業」にも取り組む働きかけをする。
- ・子どもに関わるおとな(保護者・教職員・地域・福祉関係支援者等)にもHRワークショップを促進し、エンパワメントの関わりで子どもの力を引き出すおとなを増やす。

実施場所 大阪府内の教育関係(幼・保・こども園・小・中・高等学校など)・福祉施設(放課後等デイサービス・高齢者施設・障がい児者施設など)・企業・子育て支援関係など

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日随時(年間 50ワーク)

事業対象者 子ども・保護者・教職員・人権問題に関わる人

収入 700,000円

支出 490,000円

『滋賀県エンパワメントワークショップ出前講座』

ワークショップを中心にした参加体験型学習で、エンパワメント(自ら力を引き出し、取り戻す)についての知識や技術を身につけていくことを目的に実施する。

実施場所 滋賀県内の公共施設、各団体、学校など

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日(10講座)

事業対象者 行政職員・各団体、企業職員・教職員・一般おとな

収入 330,000円

支出 165,000円

〔子ども権利条約関西ネットワークへの参画〕

子どもの権利条約を推進させるネットワークに参画し、【子どものけんり なんでもやねん！すごろく】を用いて、つながりのある地域や団体へ、子どもの権利を学ぶ機会を提供する。遊びを通して、自分自身の権利を知り権利侵害に気付くきっかけを作る。広げよう子どもの権利条約キャンペーンに参画する。子ども会議チームの子ども達と共に、全国フォーラムに参画する。

実施場所 大阪府内の公共施設、各団体、学校など

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日

収入 40,000円

支出 40,000円

〔学習会の企画・運営〕

「エンパワメンター養成事業(仮)」

地域で子どもに関わるおとなに向けて、子どもへのエンパワメントの関わりを促進する人材を育成するための研修会を開催する。エンパワメンター育成のための教材開発を進める。

実施場所 大阪府内の公共施設

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日(10回)

事業対象者 一般・子どもに関わる人

収入 280,000円

支出 270,693円

〔2020年度募集 休眠預金助成金としての人権NPO協働助成事業〕

『子どもとおとなのエンパワメント』

子どもが誰ひとり取り残されることのない、一人ひとりが安心して過ごせる社会づくりのために、現場の課題を抽出し、子どもの声を反映させた教材を開発する。

実施場所 大阪府内の公共施設

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日(ワークショップは10回)

事業対象者 一般・子どもに関わる人

収入 1,765,600円(助成金)

支出 2,225,800円

〔子育てひろば運營業務〕

子育て中の親子がコロナ禍でも気軽に安心して交流できる場を提供する。

特に乳幼児期に必要とされる五感を使って感情の育みを促す。

ひろば全体をエンパワメントの関わりで促進し、人権意識を高める。

実施場所 堺市中区役所地下1階

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日

事業対象者 未就学児とその保護者

収入 4,424,460円

支出 4,424,460円

ふるさと納税「親子で読書」絵本パック採択

貸出期間 2021年3月初旬～2021年8月下旬

(3)性教育に関する啓発・学習会事業

性教育学習会の企画・実施

子ども・おとな向けの「SAY(性・生)の会」のプログラム開発

性の多様性・性の健康教育・からだのしくみと働き・デートDV予防・心とからだの境界線・

性感染症予防と予期せぬ妊娠予防

2021年度の指針

子どもたちの発達段階に応じた性の健康教育の必要性、課題項目を掲げ継続的にプログラムを実施。多様な性を認め自分の心とからだを大切に、他者との関係性を築くことができるよう、性を人権の視点でとらえたワークショップを提供する。教育・福祉・行政・企業に協働事業を働きかけ、性教育に関わる人と連携し、社会に性の健康に関する意識を広げる。

実施場所 大阪府内及び近隣地域の公共施設、小・中・高校・支援学校・各種団体など

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日随時(30校 40回)

事業対象者 児童、生徒、教職員、保護者、支援者など

収入 1,000,000円

支出 700,000円

(4)障がい児にかかわるワークショップ(参加体験型学習)事業

障がい児(者)と障がい児(者)にかかわるきょうだい・おとなへのワークショップの企画・運営。障がい児(者)にワークショップ(参加体験型学習)を通して人権プログラムを伝えていくとともに、障がい児(者)に対する理解を広める学習会を企画し、地域へ啓発していく。

2021年度の指針

今年度は地域の様々な団体の支援者や保護者や、放課後支援団体にワークショップを届け、障がい児者への理解を深める。障がい児者ひとりひとりの特性に応じたエンパワメントの関わりをしスタッフはその研鑽につとめる。また、事業を継続するための協力者・協力金を集める。

実施場所 堺市内及び近隣の公共施設

実施日時 2021年 4月 1日から2022年 3月31日随時(年間約14回)

事業対象者 障がい児(者)と障がい児(者)にかかわる人

収入	282,000円
支出	200,000円